

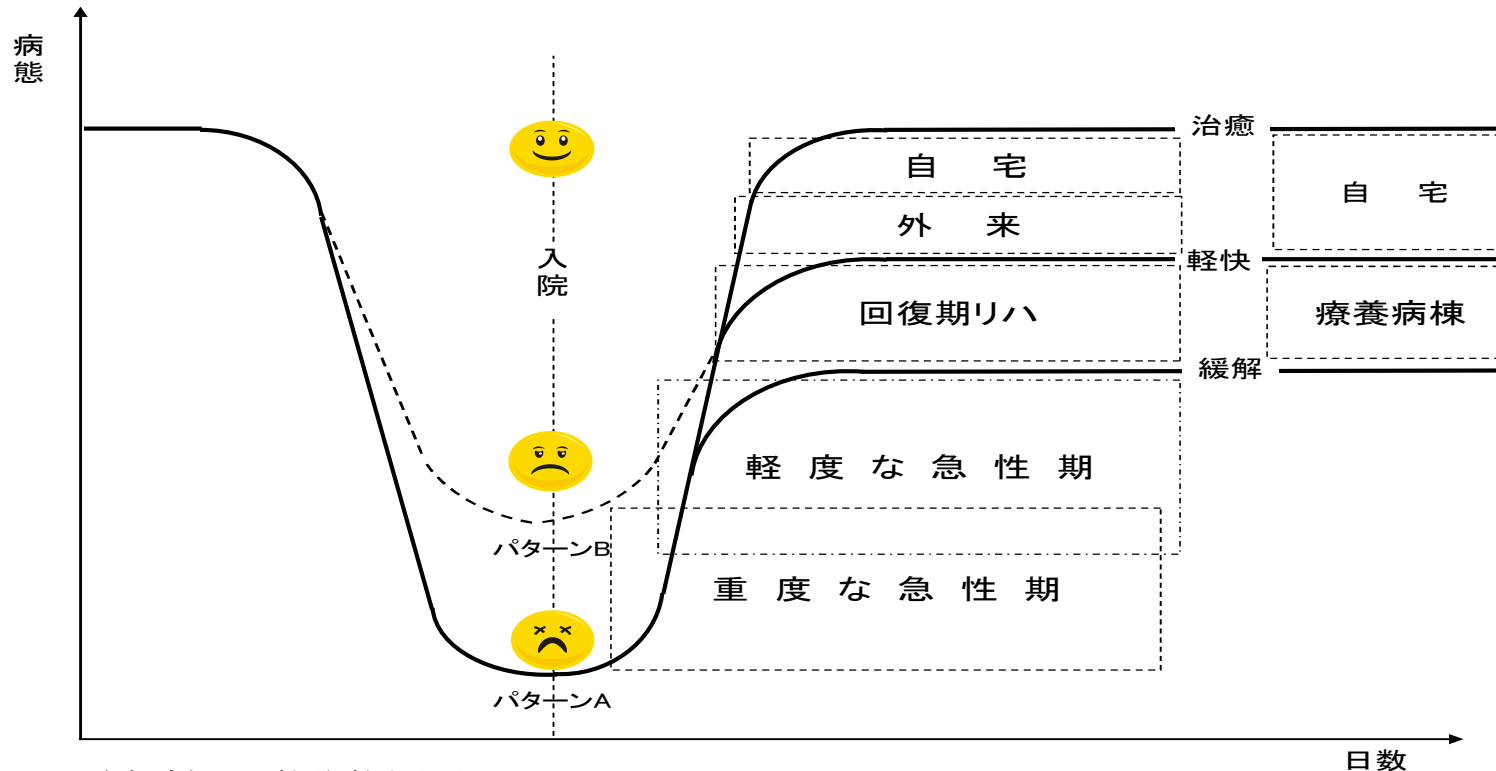
参考資料

急性期の定義について

急性期の定義

「急性期とは患者の病態が不安定な状態から、治療によりある程度安定した状態に至るまで」とする。

患者の病態に応じた医療の内容



治癒: 病気やけがなどがなおること。

軽快: 症状が軽くなること。

緩解: 病気の症状が、一時的あるいは継続的に軽減した状態。または見かけ上消滅した状態。

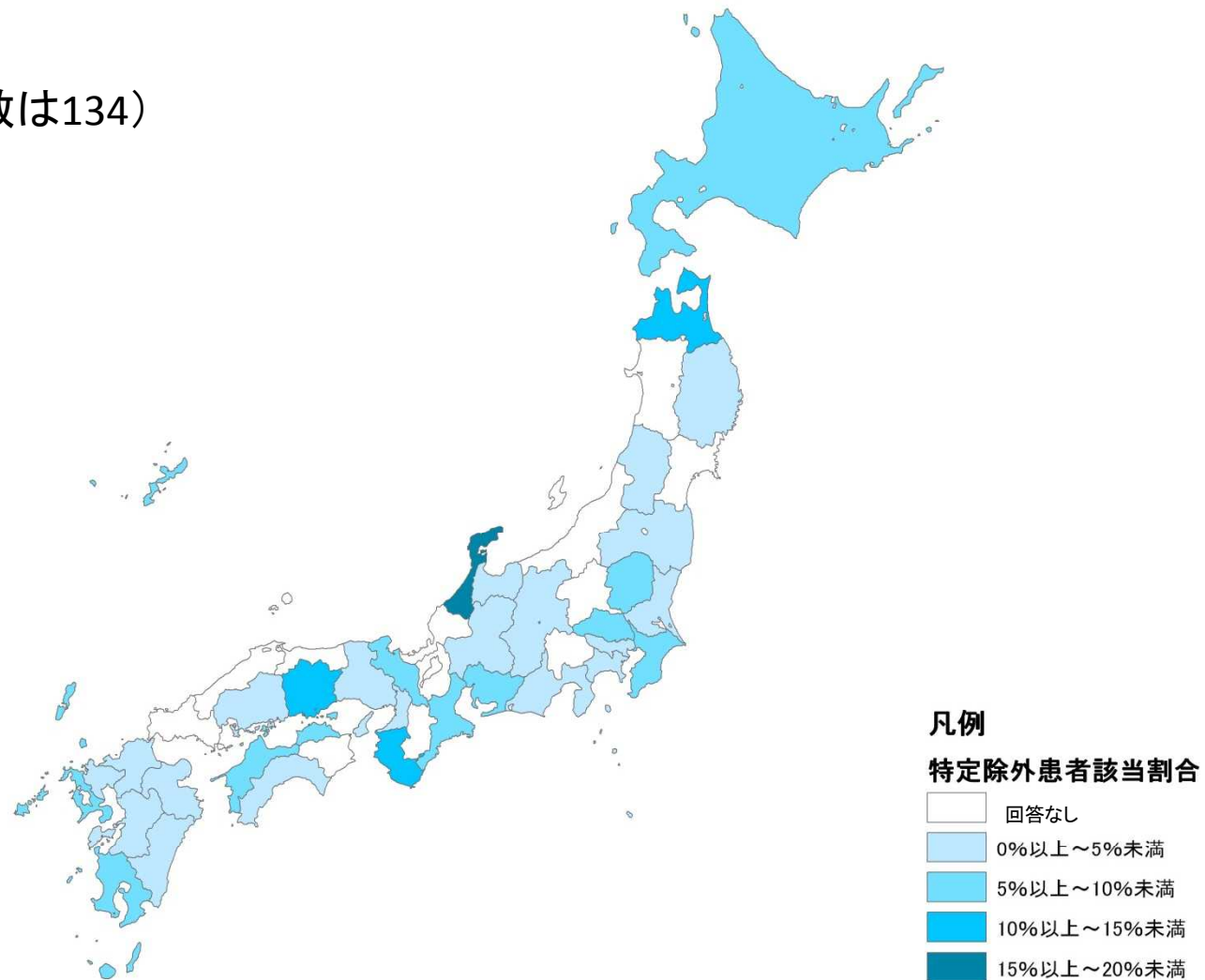
地域別の特定除外特定除外項目 該当患者割合について

全入院患者に占める特定除外項目該当患者の割合(都道府県別)

7対1・10対1

N=5,537

(対象医療機関数は134)



重症度・看護必要度

重症度・看護必要度に係る評価票

A モニタリング及び処置等	0点	1点	2点
1 創傷処置	なし	あり	
2 血圧測定	0から4回	5回以上	
3 時間尿測定	なし	あり	
4 呼吸ケア	なし	あり	
5 点滴ライン同時3本以上	なし	あり	
6 心電図モニター	なし	あり	
7 シリンジポンプの使用	なし	あり	
8 輸血や血液製剤の使用	なし	あり	
計画に基づいた10分以上の指導	なし	あり	
計画に基づいた10分以上の意思決定支援	なし	あり	
9 専門的な治療・処置1※			
① 抗悪性腫瘍剤の使用			
② 麻薬注射薬の使用			
③ 放射線治療			
④ 免疫抑制剤の使用			
⑤ 昇圧剤の使用			
⑥ 抗不整脈剤の使用			
⑦ ドレナージの管理			
抗悪性腫瘍剤の内服			
麻薬の内服・貼付			
抗血栓塞栓薬の持続点滴			
	なし		あり
B 患者の状況等	0点	1点	2点
1 寝返り	できる	何かにつまればできる	できない
2 起き上がり	できる	できない	
3 座位保持	できる	支えがあればできる	できない
4 移乗	できる	見守り・一部介助が必要	できない
5 口腔清潔	できる	できない	
6 食事摂取	介助なし	一部介助	全介助
7 衣服の着脱	介助なし	一部介助	全介助

青字:削除項目案

赤字:追加項目案

シミュレーションの条件とパターン

【シミュレーションの条件】

- ① 現行のB項目は変更しない
- ② A項目2点かつB項目3点以上を「基準該当者」とする
- ③ 削除項目、追加項目について、組み合わせて分析を行う

【シミュレーションのパターン】: 合計6パターンについて分析

	(ア)	(イ)	(イ')	(ウ)	(ウ')	(エ)
パターン1	○	○		○		○
パターン2	○		○		○	○
パターン3	○	○		○		
パターン4	○		○		○	
パターン5	○					○
パターン6	○					

診療報酬調査専門組織入院医療等の調査・評価分科会中間とりまとめ(案)(P4抜粋、一部改編)

(ア) 時間尿測定及び血圧測定を項目から削除

(イ) 創傷処置については褥瘡の処置を定義から外すこと

(イ') 創傷処置の削除

(ウ) 呼吸ケアについては痰の吸引を定義から外すこと

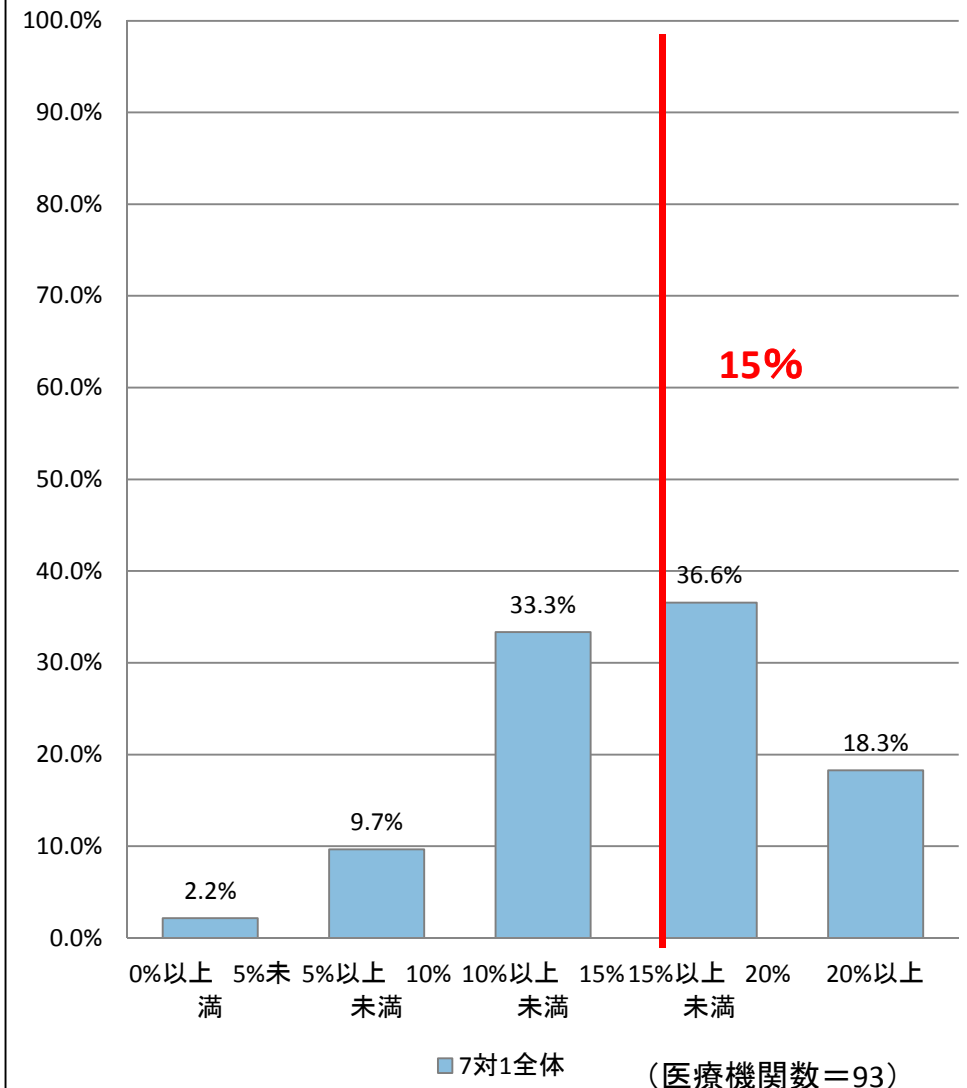
(ウ') 呼吸ケアの削除

(エ) 抗悪性腫瘍剤の内服、麻薬の内服・貼付、抗血栓塞栓薬の持続点滴、
計画に基づいた10分間以上の指導、計画に基づいた10分間以上の意思決定支援
をA項目に追加すること

現行の重症度・看護必要度について①

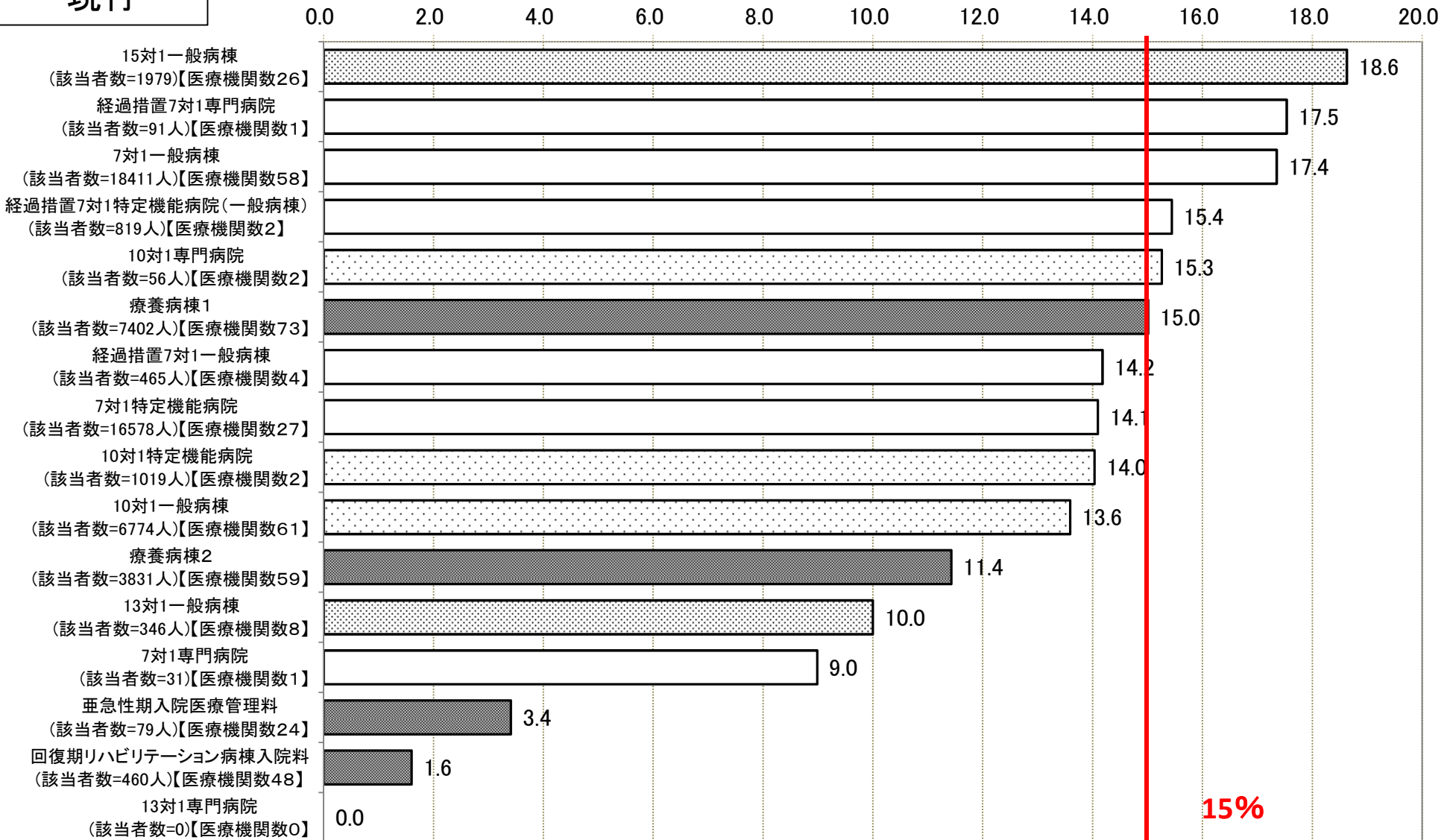
A モニタリング及び処置等	
1 創傷処置	○
2 血圧測定	○
3 時間尿測定	○
4 呼吸ケア	○
5 点滴ライン同時3本以上	○
6 心電図モニター	○
7 シリンジポンプの使用	○
8 輸血や血液製剤の使用	○
計画に基づいた10分以上の指導	—
計画に基づいた10分以上の意思決定支援	—
9 専門的な治療・処置1	○
① 抗悪性腫瘍剤の使用	○
② 麻薬注射薬の使用	○
③ 放射線治療	○
④ 免疫抑制剤の使用	○
⑤ 昇圧剤の使用	○
⑥ 抗不整脈剤の使用	○
⑦ ドレナージの管理	○
抗悪性腫瘍剤の内服	—
麻薬の内服・貼付	—
抗血栓塞栓薬の持続点滴	—
B 患者の状況等	
1 寝返り	○
2 起き上がり	○
3 座位保持	○
4 移乗	○
5 口腔清潔	○
6 食事摂取	○
7 衣服の着脱	○

基準該当者割合別の施設割合(%)



現行の重症度・看護必要度について②

現行



15%

＜削除項目と追加項目の組み合わせのシミュレーション＞

パターン1:「時間尿測定」「血圧測定」の削除、「褥瘡処置を除く創傷処置」「吸引を除く呼吸ケア」と追加項目の全てを反映した場合①

A モニタリング及び処置等	
1 創傷処置 ※褥瘡処置を除く	△
2 血圧測定	×
3 時間尿測定	×
4 呼吸ケア ※吸引を除く	△
5 点滴ライン同時3本以上	○
6 心電図モニター	○
7 シリンジポンプの使用	○
8 輸血や血液製剤の使用	○
計画に基づいた10分以上の指導	○
計画に基づいた10分以上の意思決定支援	○
9 専門的な治療・処置1	○
① 抗悪性腫瘍剤の使用	○
② 麻薬注射薬の使用	○
③ 放射線治療	○
④ 免疫抑制剤の使用	○
⑤ 昇圧剤の使用	○
⑥ 抗不整脈剤の使用	○
⑦ ドレナージの管理	○
抗悪性腫瘍剤の内服	○
麻薬の内服・貼付	○
抗血栓塞栓薬の持続点滴	○
B 患者の状況等	
1 寝返り	○
2 起き上がり	○
3 座位保持	○
4 移乗	○
5 口腔清潔	○
6 食事摂取	○
7 衣服の着脱	○

***パターン1については、**
患者票の提出があった医療機関のみの集計のため、
該当者数が少なく、
基準該当者別7対1入院基本料算定医療機関別集計なし

【集計について】

重症度・看護必要度について、項目の「追加」「削除」「見直し」のシミュレーションに基づき、基準該当者を集計

「○」集計対象とする項目

「×」集計対象外とする項目

「△」現状の定義を見直して集計を行う項目

「創傷処置」の場合:現状の定義から「褥瘡処置」を除く

「呼吸ケア」の場合:現状の定義から「吸引」を除く

「－」現状の重症度・看護必要度に含まれていない項目

(「今回新たに追加が検討された項目(「追加項目」)

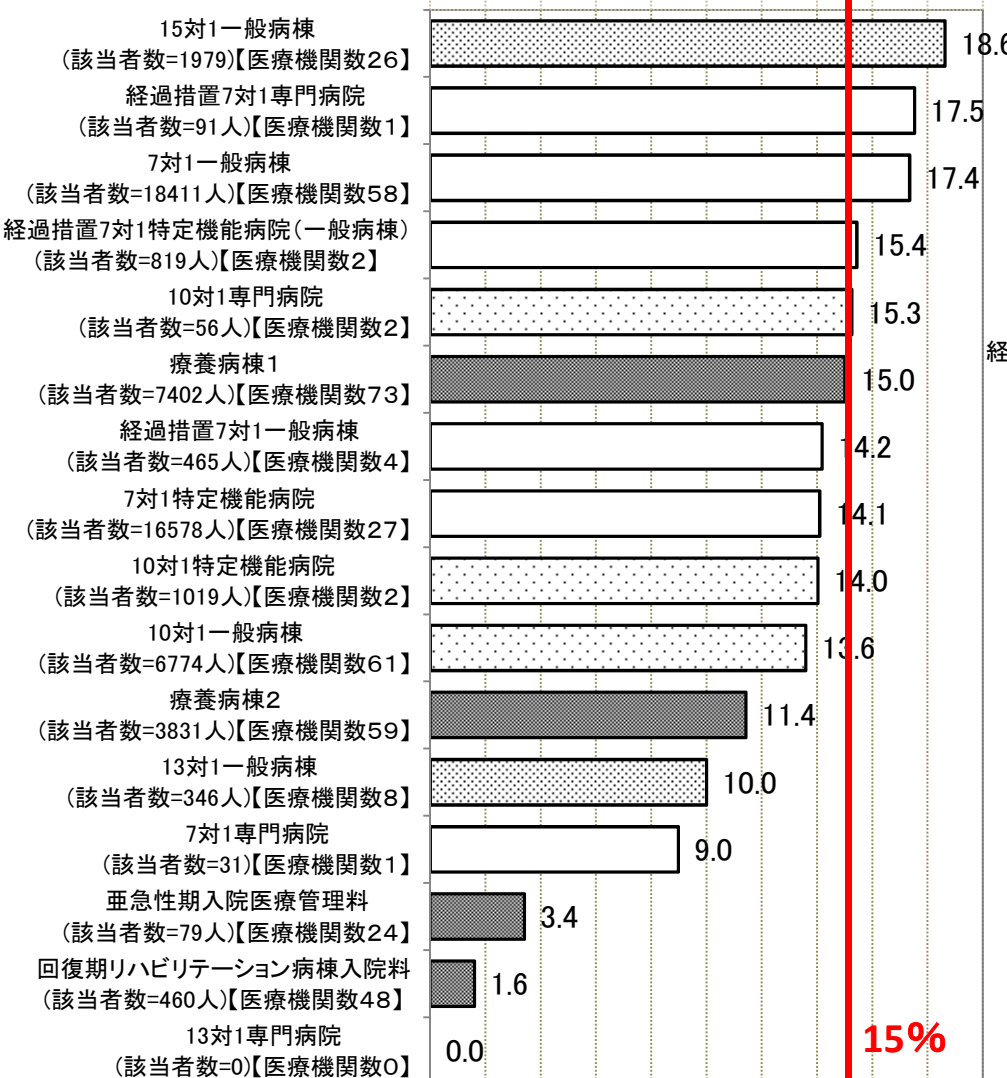
＜削除項目と追加項目の組み合わせのシミュレーション＞ パターン1:「時間尿測定」「血圧測定」の削除、「褥瘡処置を除く創傷処置」「吸引を除く呼吸ケア」と 追加項目の全てを反映した場合②

現行

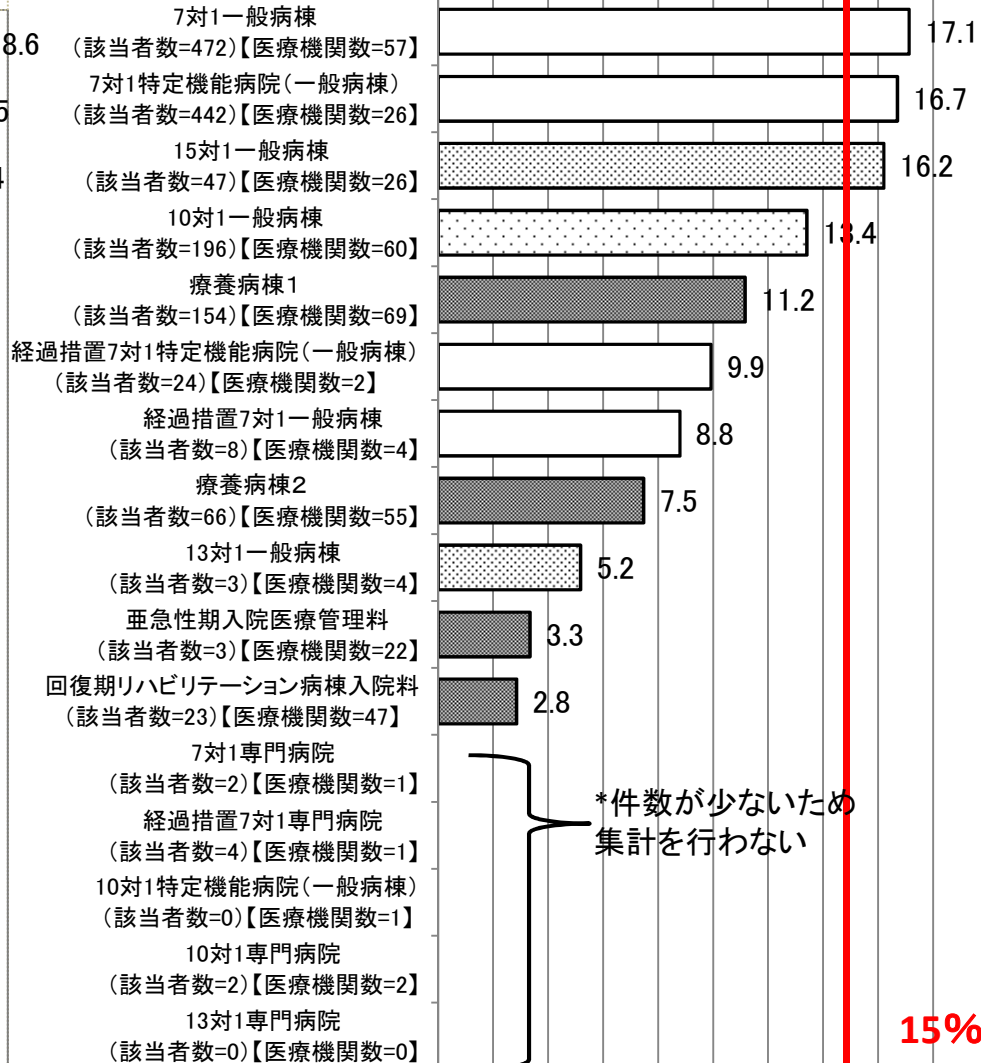


パターン1の集計結果

*パターン1については、患者票の提出のあった医療機関のみの集計のため、該当者数が少ない



15%



*件数が少ないため集計を行わない

15%

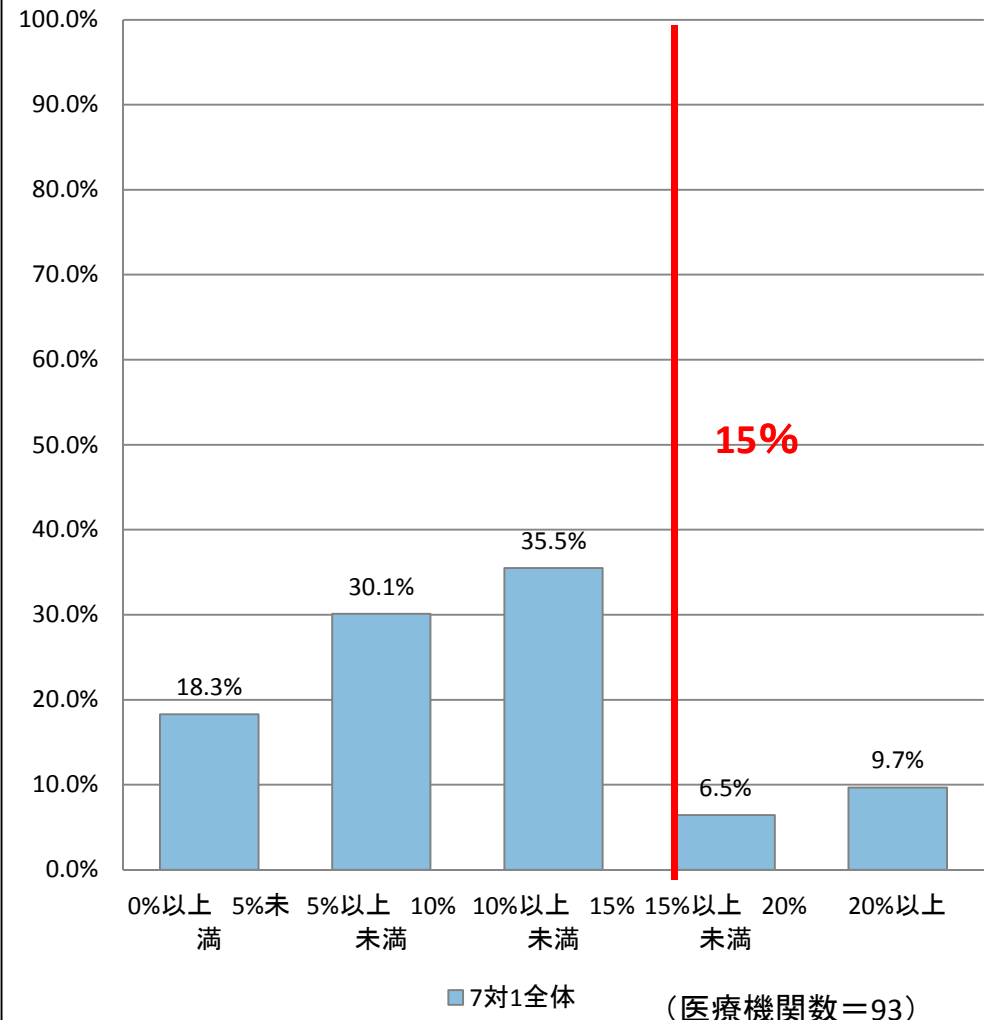
【集計について】 病棟種別毎に分類し、基準該当者割合を集計

出典: 平成24年度 入院医療等の調査より

＜削除項目と追加項目の組み合わせのシミュレーション＞
 パターン2:「時間尿測定」「血圧測定」「創傷処置」「呼吸ケア」の削除と
 追加項目の全てを反映した場合①

A モニタリング及び処置等	
1 創傷処置	×
2 血圧測定	×
3 時間尿測定	×
4 呼吸ケア	×
5 点滴ライン同時3本以上	○
6 心電図モニター	○
7 シリンジポンプの使用	○
8 輸血や血液製剤の使用	○
計画に基づいた10分以上の指導	○
計画に基づいた10分以上の意思決定支援	○
9 専門的な治療・処置1	○
① 抗悪性腫瘍剤の使用	○
② 麻薬注射薬の使用	○
③ 放射線治療	○
④ 免疫抑制剤の使用	○
⑤ 昇圧剤の使用	○
⑥ 抗不整脈剤の使用	○
⑦ ドレナージの管理	○
抗悪性腫瘍剤の内服	○
麻薬の内服・貼付	○
抗血栓塞栓薬の持続点滴	○
B 患者の状況等	
1 寝返り	○
2 起き上がり	○
3 座位保持	○
4 移乗	○
5 口腔清潔	○
6 食事摂取	○
7 衣服の着脱	○

基準該当者割合別の施設割合(%)



【集計について】 7対1入院基本料を算定する医療機関の
 「基準該当者割合」別に医療機関の分布を集計

青字:削除項目案 赤字:追加項目案

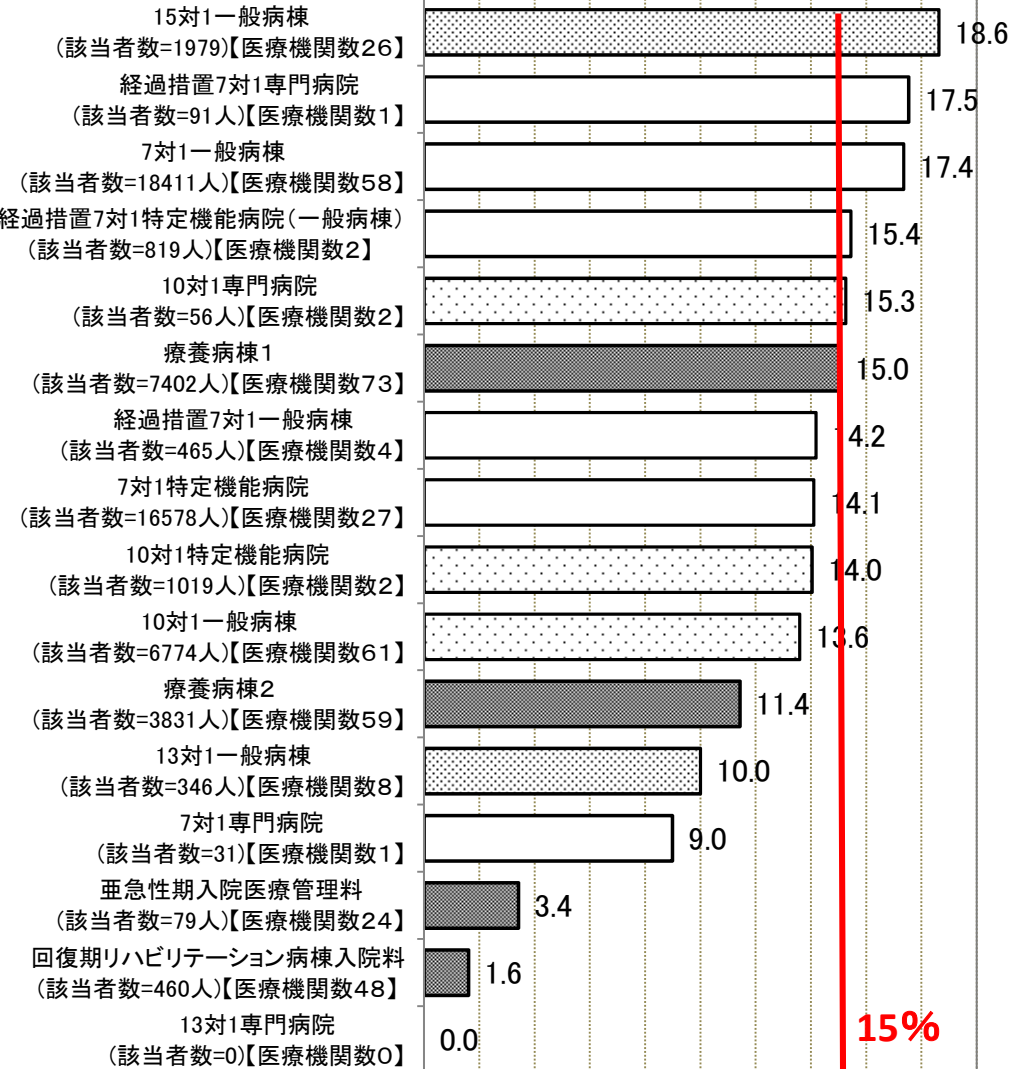
<削除項目と追加項目の組み合わせのシミュレーション> パターン2:「時間尿測定」「血圧測定」「創傷処置」「呼吸ケア」の削除と 追加項目の全てを反映した場合②

現行

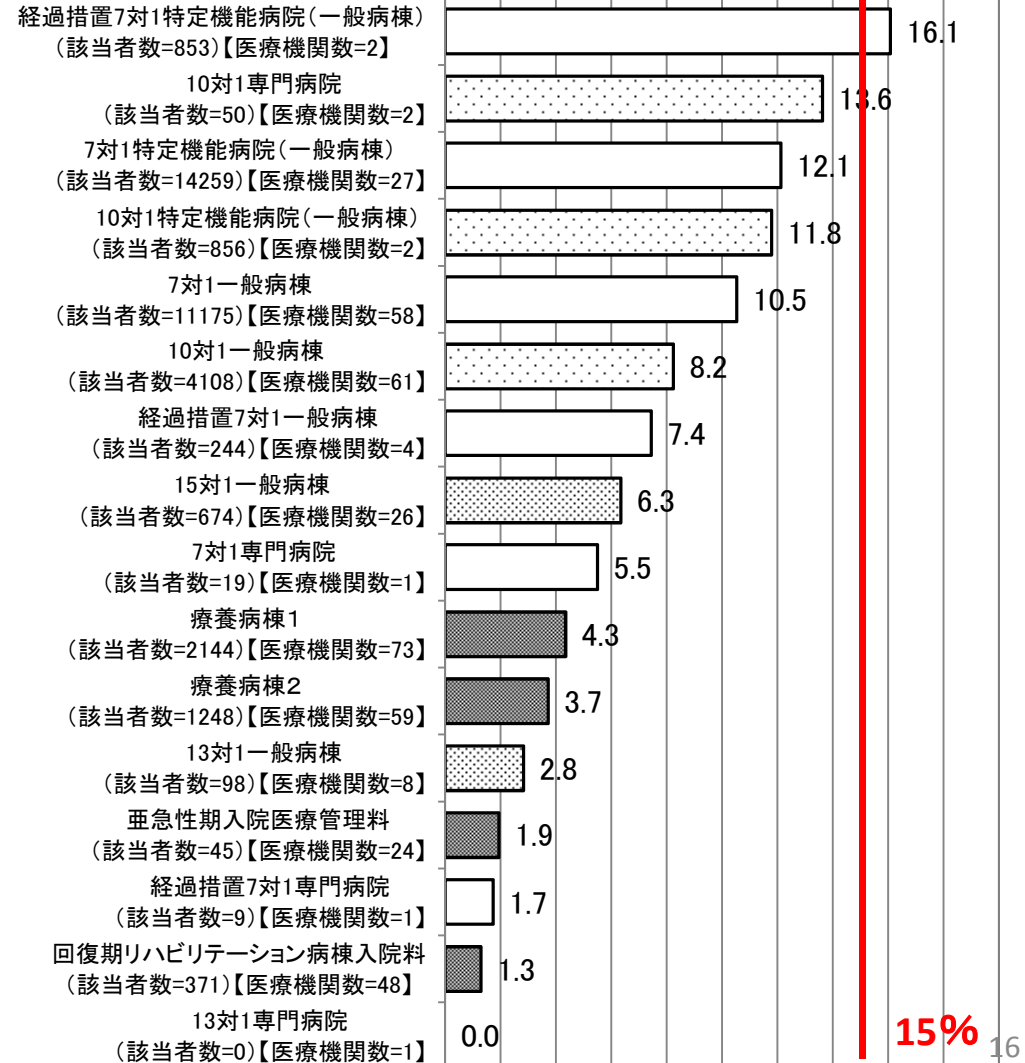


パターン2の集計結果

0.0 2.0 4.0 6.0 8.0 10.0 12.0 14.0 16.0 18.0 20.0



0.0 2.0 4.0 6.0 8.0 10.0 12.0 14.0 16.0 18.0 20.0



出典:平成24年度 入院医療等の調査より

＜削除項目のシミュレーション＞
 パターン3:「時間尿測定」「血圧測定」の削除と
 「褥瘡処置を除く創傷処置」「吸引を除く呼吸ケア」を行った場合①

A モニタリング及び処置等	
1 創傷処置 ※褥瘡処置を除く	△
2 血圧測定	×
3 時間尿測定	×
4 呼吸ケア ※吸引を除く	△
5 点滴ライン同時3本以上	○
6 心電図モニター	○
7 シリンジポンプの使用	○
8 輸血や血液製剤の使用	○
計画に基づいた10分以上の指導	—
計画に基づいた10分以上の意思決定支援	—
9 専門的な治療・処置1	○
① 抗悪性腫瘍剤の使用	○
② 麻薬注射薬の使用	○
③ 放射線治療	○
④ 免疫抑制剤の使用	○
⑤ 昇圧剤の使用	○
⑥ 抗不整脈剤の使用	○
⑦ ドレナージの管理	○
抗悪性腫瘍剤の内服	—
麻薬の内服・貼付	—
抗血栓塞栓薬の持続点滴	—
B 患者の状況等	
1 寝返り	○
2 起き上がり	○
3 座位保持	○
4 移乗	○
5 口腔清潔	○
6 食事摂取	○
7 衣服の着脱	○

*パターン3については、
 患者票の提出があった医療機関のみの集計のため、
 該当者数が少なく、
 基準該当者別7対1入院基本料算定医療機関別集計なし

＜削除項目のシミュレーション＞ パターン3:「時間尿測定」「血圧測定」の削除と 「褥瘡処置を除く創傷処置」「吸引を除く呼吸ケア」を行った場合②

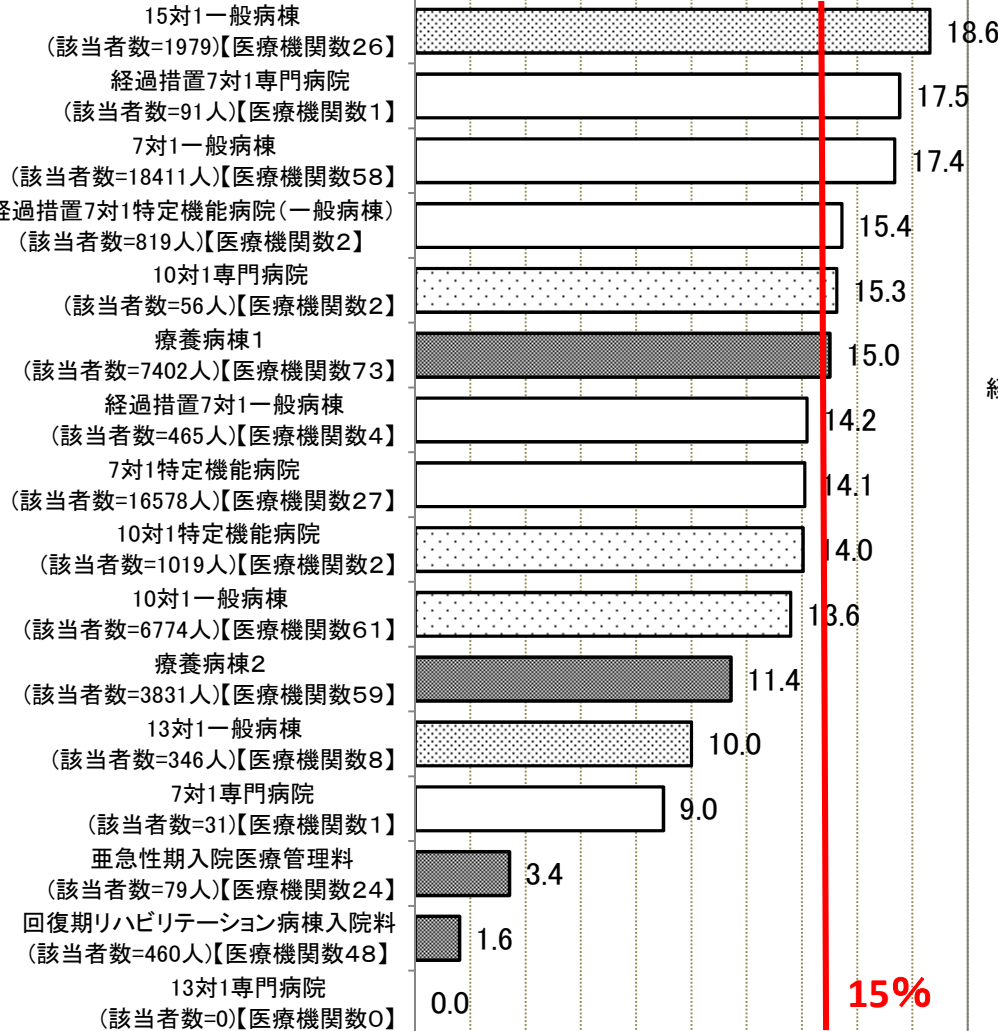
現行



パターン3の集計結果

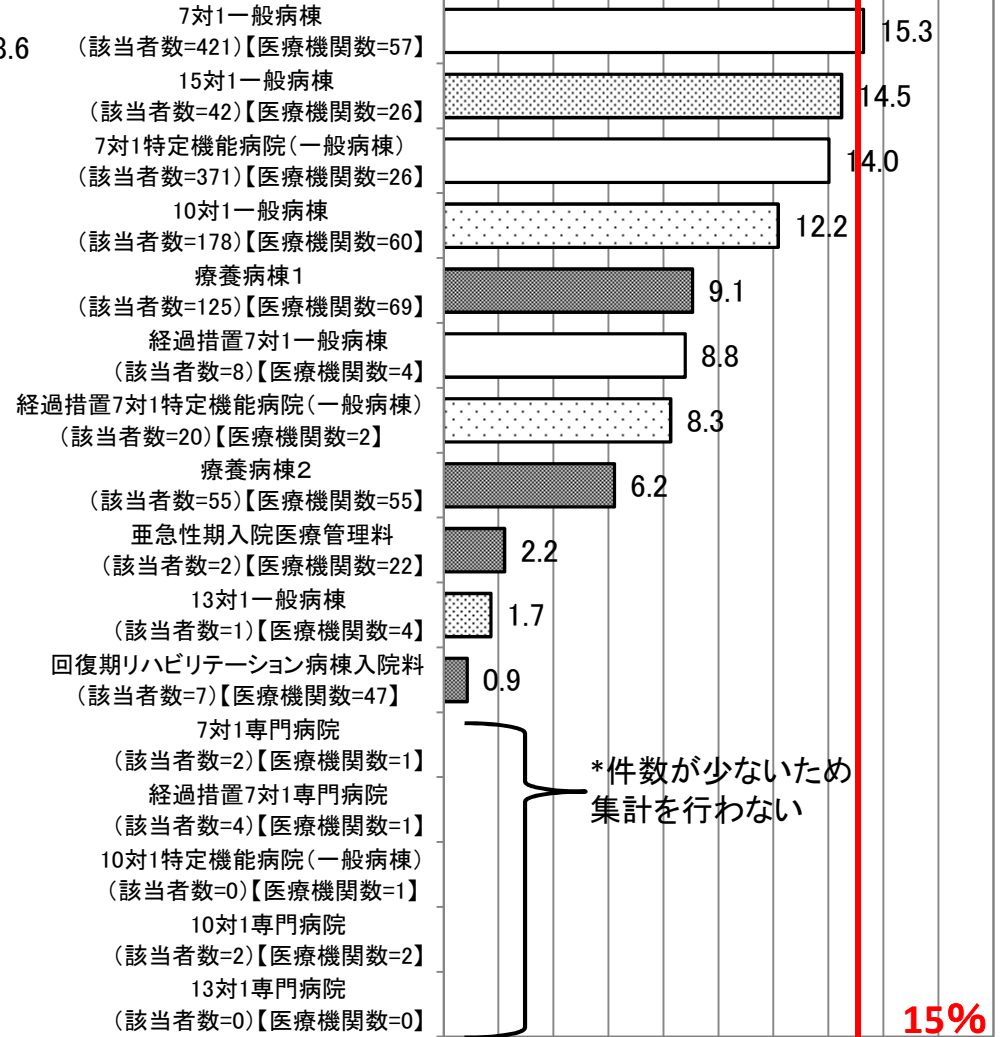
*パターン3については、患者票の提出のあった医療機関のみの集計のため、該当者数が少ない

0.0 2.0 4.0 6.0 8.0 10.0 12.0 14.0 16.0 18.0 20.0



15%

0.0 2.0 4.0 6.0 8.0 10.0 12.0 14.0 16.0 18.0 20.0



*件数が少ないため集計を行わない

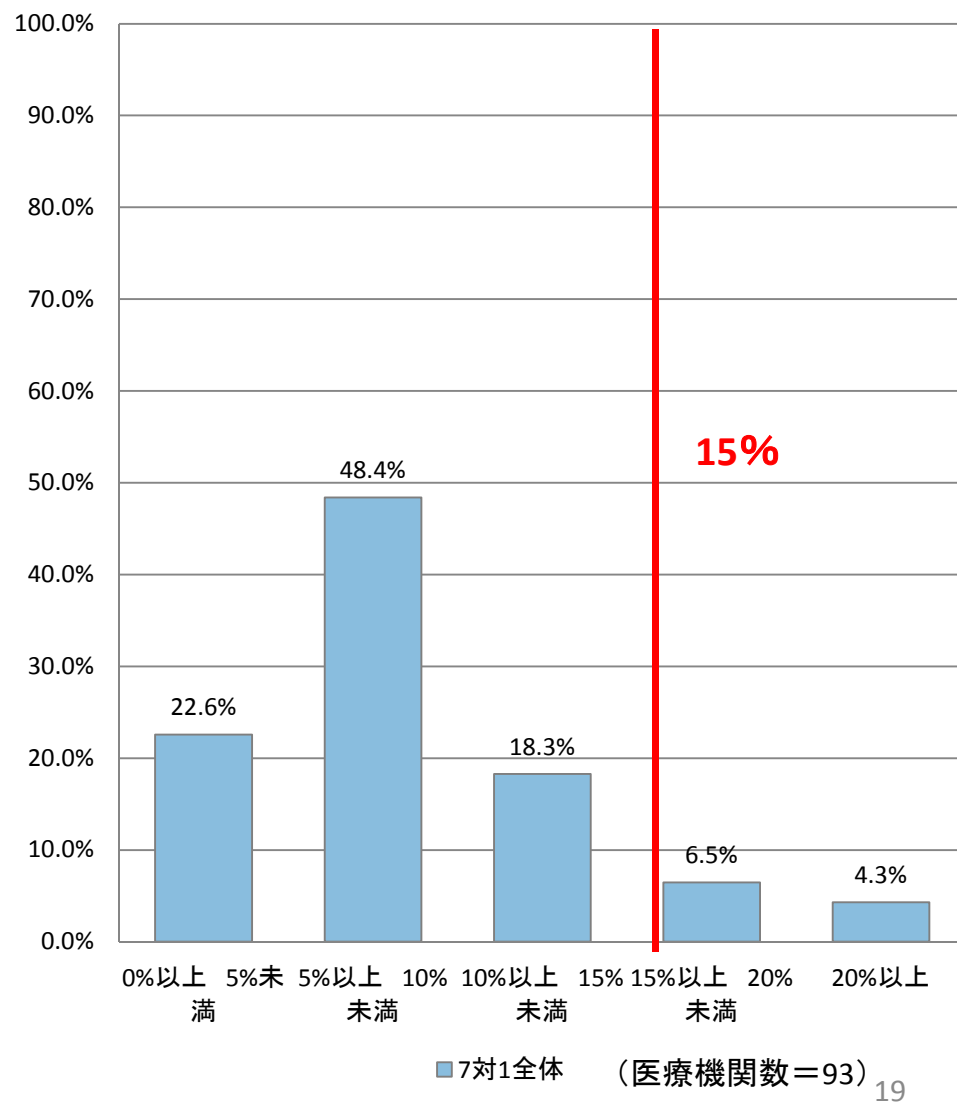
15%

＜削除項目のシミュレーション＞

パターン4:「時間尿測定」「血圧測定」「創傷処置」「呼吸ケア」を削除した場合①

A モニタリング及び処置等	
1 創傷処置	×
2 血圧測定	×
3 時間尿測定	×
4 呼吸ケア	×
5 点滴ライン同時3本以上	○
6 心電図モニター	○
7 シリンジポンプの使用	○
8 輸血や血液製剤の使用	○
計画に基づいた10分以上の指導	—
計画に基づいた10分以上の意思決定支援	—
9 専門的な治療・処置1	○
① 抗悪性腫瘍剤の使用	○
② 麻薬注射薬の使用	○
③ 放射線治療	○
④ 免疫抑制剤の使用	○
⑤ 昇圧剤の使用	○
⑥ 抗不整脈剤の使用	○
⑦ ドレナージの管理	○
抗悪性腫瘍剤の内服	—
麻薬の内服・貼付	—
抗血栓塞栓薬の持続点滴	—
B 患者の状況等	
1 寝返り	○
2 起き上がり	○
3 座位保持	○
4 移乗	○
5 口腔清潔	○
6 食事摂取	○
7 衣服の着脱	○

基準該当者割合別の施設割合(%)



青字:削除項目案 赤字:追加項目案

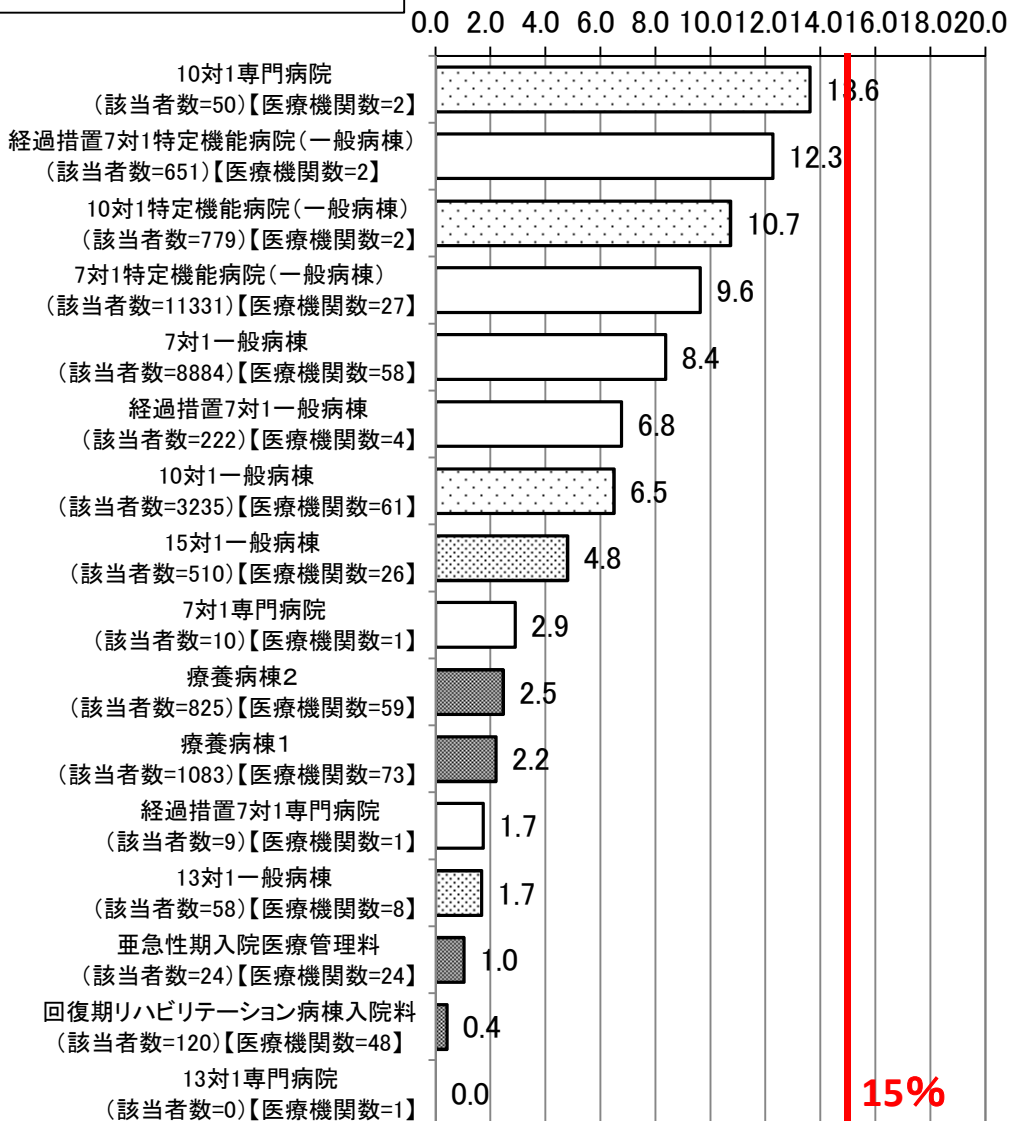
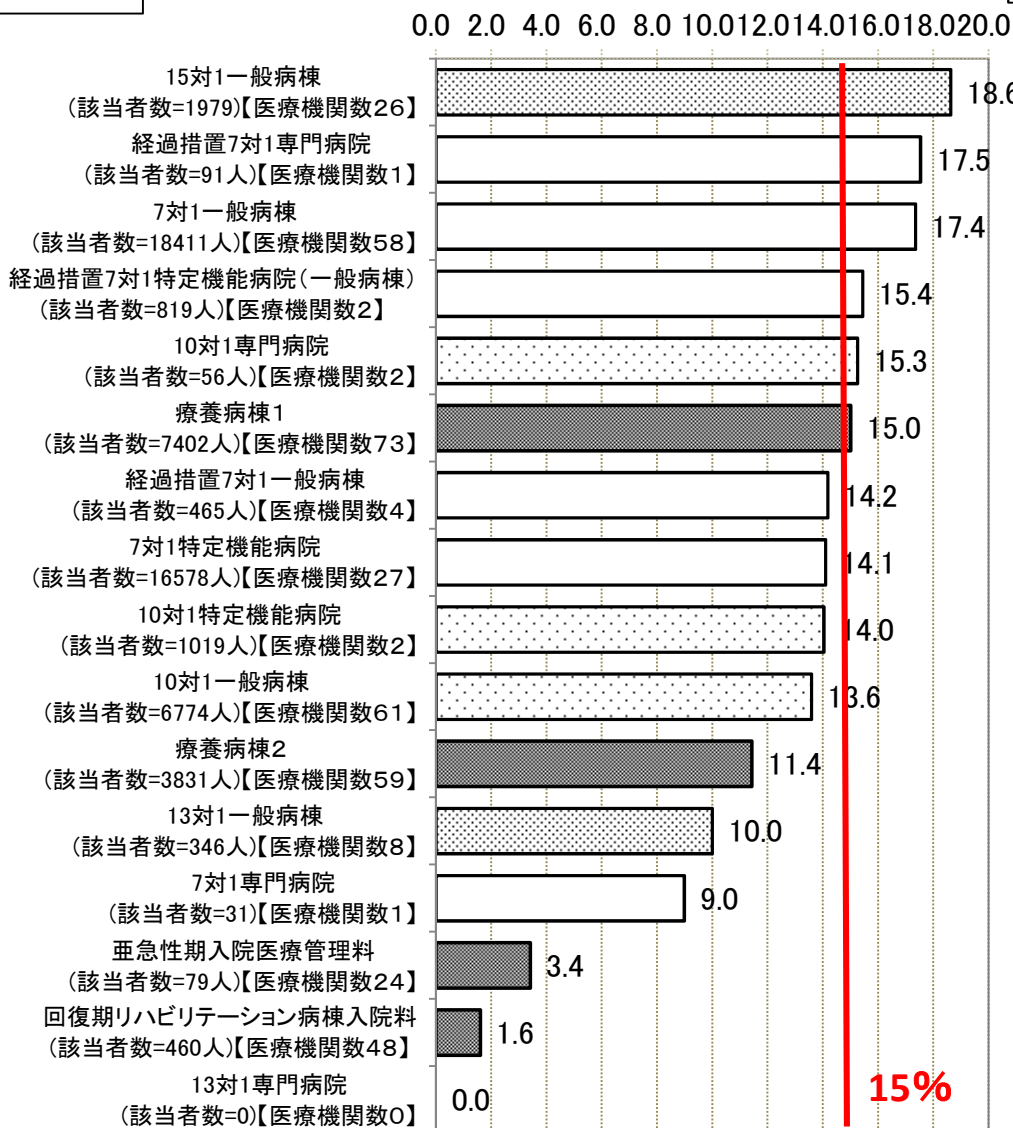
出典:平成24年度 入院医療等の調査より

＜削除項目のシミュレーション＞ パターン4:「時間尿測定」「血圧測定」「創傷処置」「呼吸ケア」を削除した場合②

現行



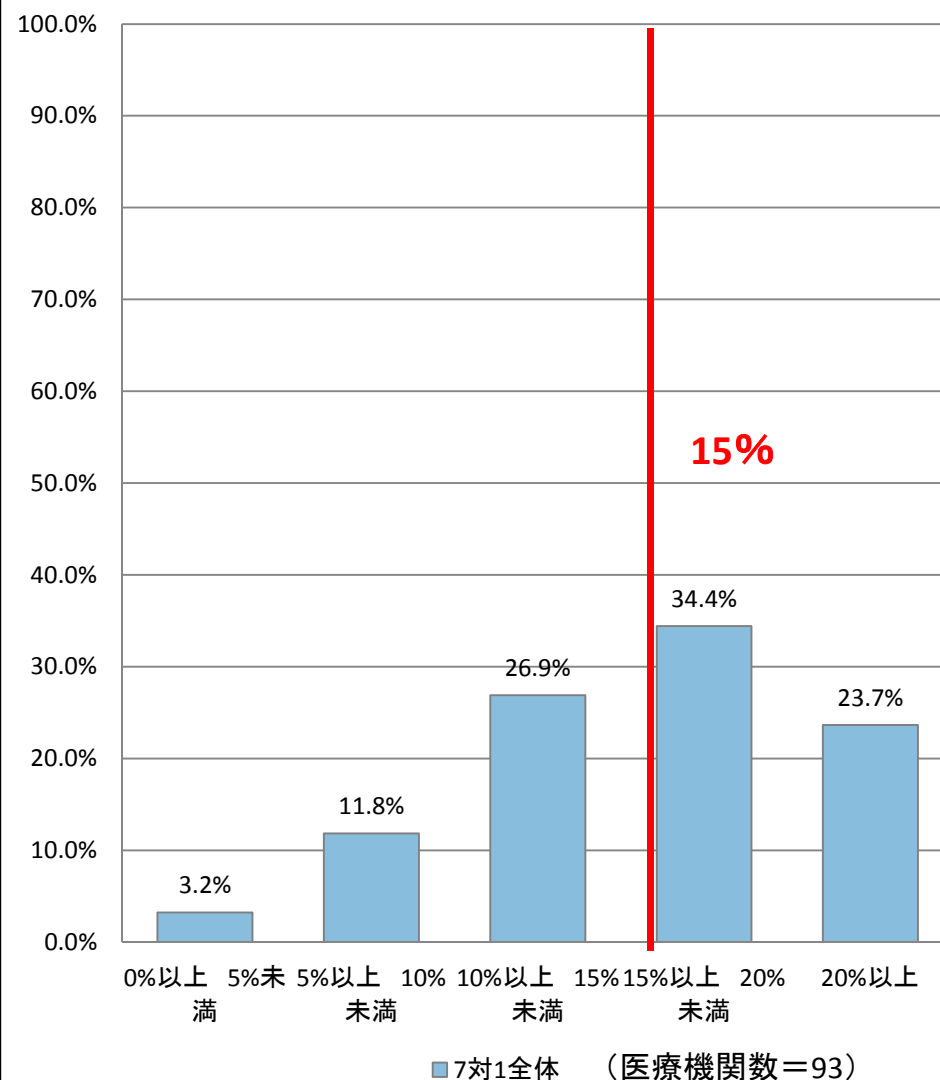
パターン4の集計結果



＜削除項目と追加項目の組み合わせのシミュレーション＞
 パターン5:「時間尿測定」「血圧測定」の削除と追加項目の全てを反映した場合①

A モニタリング及び処置等	
1 創傷処置	○
2 血圧測定	×
3 時間尿測定	×
4 呼吸ケア	○
5 点滴ライン同時3本以上	○
6 心電図モニター	○
7 シリンジポンプの使用	○
8 輸血や血液製剤の使用	○
計画に基づいた10分以上の指導	○
計画に基づいた10分以上の意思決定支援	○
9 専門的な治療・処置1	○
① 抗悪性腫瘍剤の使用	○
② 麻薬注射薬の使用	○
③ 放射線治療	○
④ 免疫抑制剤の使用	○
⑤ 昇圧剤の使用	○
⑥ 抗不整脈剤の使用	○
⑦ ドレナージの管理	○
抗悪性腫瘍剤の内服	○
麻薬の内服・貼付	○
抗血栓塞栓薬の持続点滴	○
B 患者の状況等	
1 寝返り	○
2 起き上がり	○
3 座位保持	○
4 移乗	○
5 口腔清潔	○
6 食事摂取	○
7 衣服の着脱	○

基準該当者割合別の施設割合(%)



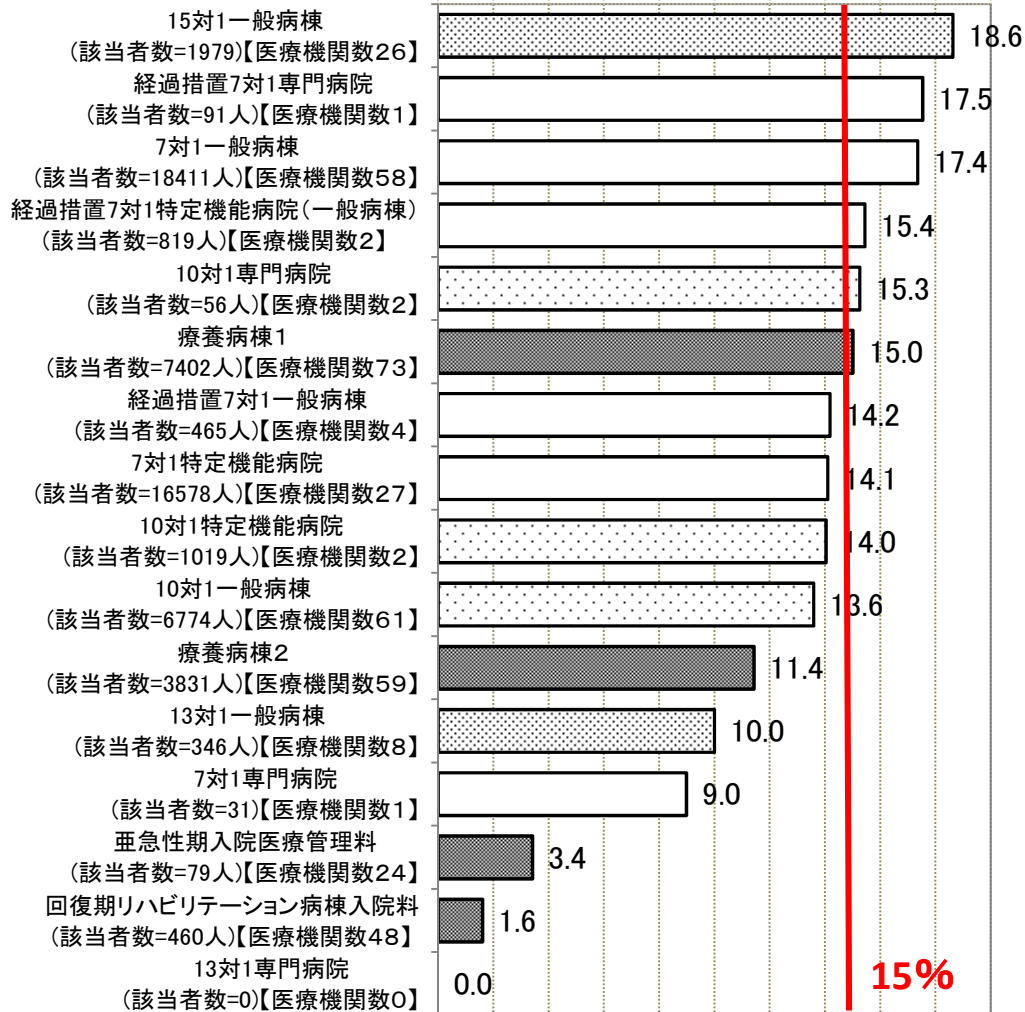
<削除項目と追加項目の組み合わせのシミュレーション> パターン5:「時間尿測定」「血圧測定」の削除と追加項目の全てを反映した場合②

現行

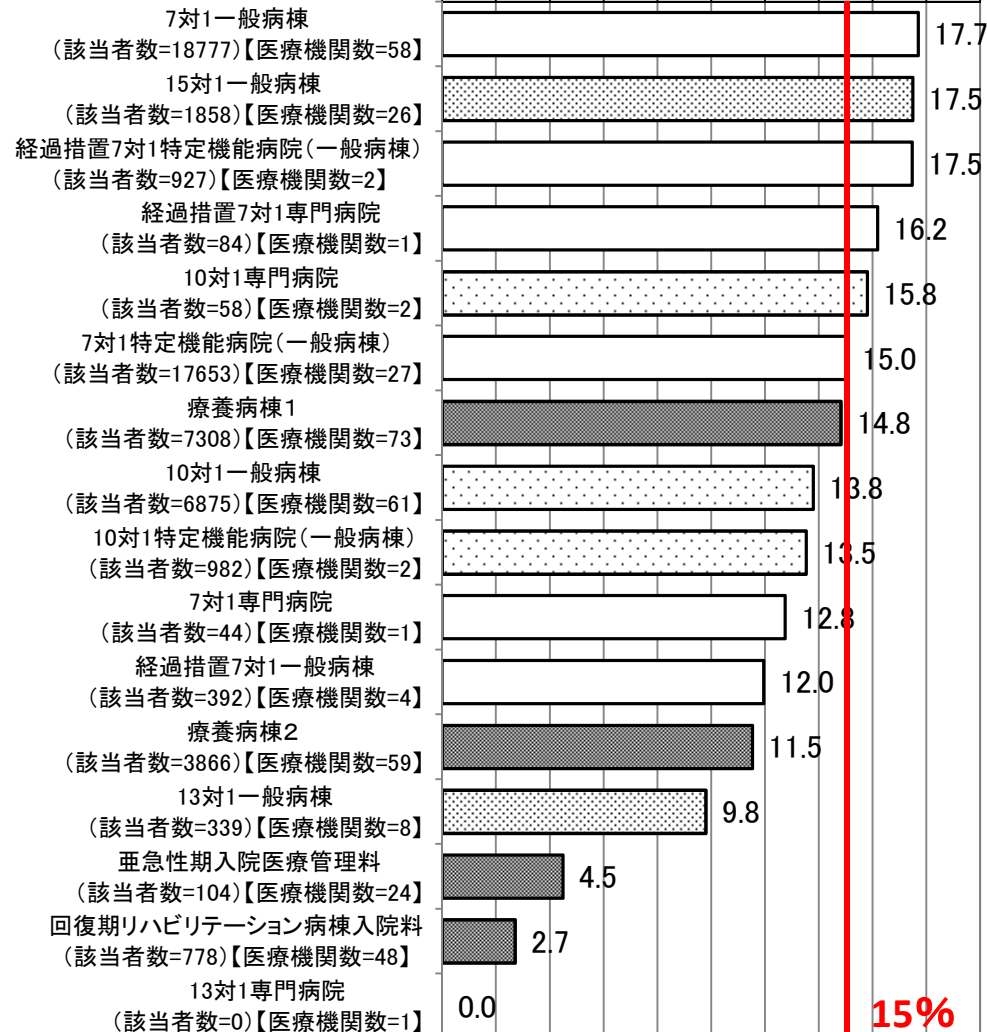
パターン5の集計結果

0.0 2.0 4.0 6.0 8.0 10.0 12.0 14.0 16.0 18.0 20.0

0.0 2.0 4.0 6.0 8.0 10.0 12.0 14.0 16.0 18.0 20.0



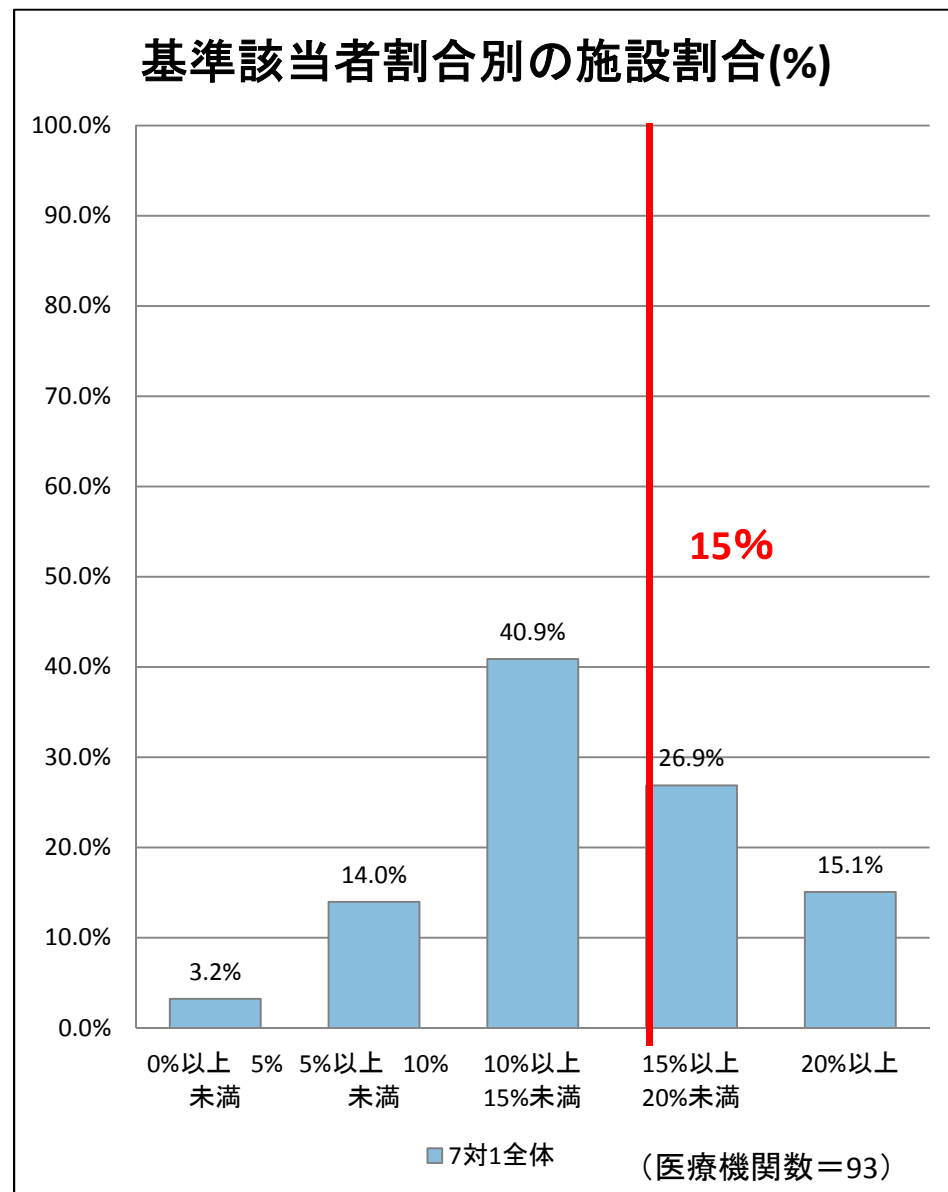
15%



15%

＜削除項目のシミュレーション＞ パターン6:「時間尿測定」「血圧測定」を削除した場合①

A モニタリング及び処置等	
1 創傷処置	○
2 血圧測定	×
3 時間尿測定	×
4 呼吸ケア	○
5 点滴ライン同時3本以上	○
6 心電図モニター	○
7 シリンジポンプの使用	○
8 輸血や血液製剤の使用	○
計画に基づいた10分以上の指導	—
計画に基づいた10分以上の意思決定支援	—
9 専門的な治療・処置1	○
① 抗悪性腫瘍剤の使用	○
② 麻薬注射薬の使用	○
③ 放射線治療	○
④ 免疫抑制剤の使用	○
⑤ 昇圧剤の使用	○
⑥ 抗不整脈剤の使用	○
⑦ ドレナージの管理	○
抗悪性腫瘍剤の内服	—
麻薬の内服・貼付	—
抗血栓塞栓薬の持続点滴	—
B 患者の状況等	
1 寝返り	○
2 起き上がり	○
3 座位保持	○
4 移乗	○
5 口腔清潔	○
6 食事摂取	○
7 衣服の着脱	○



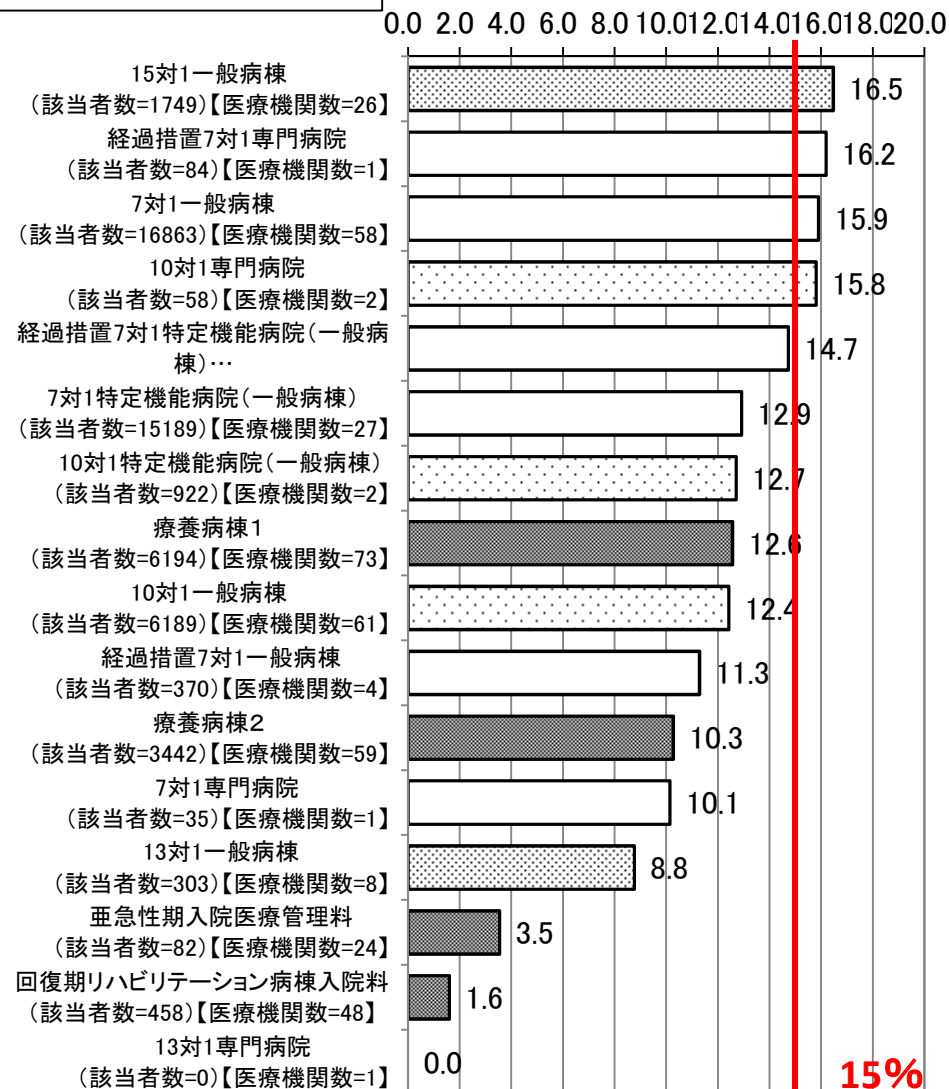
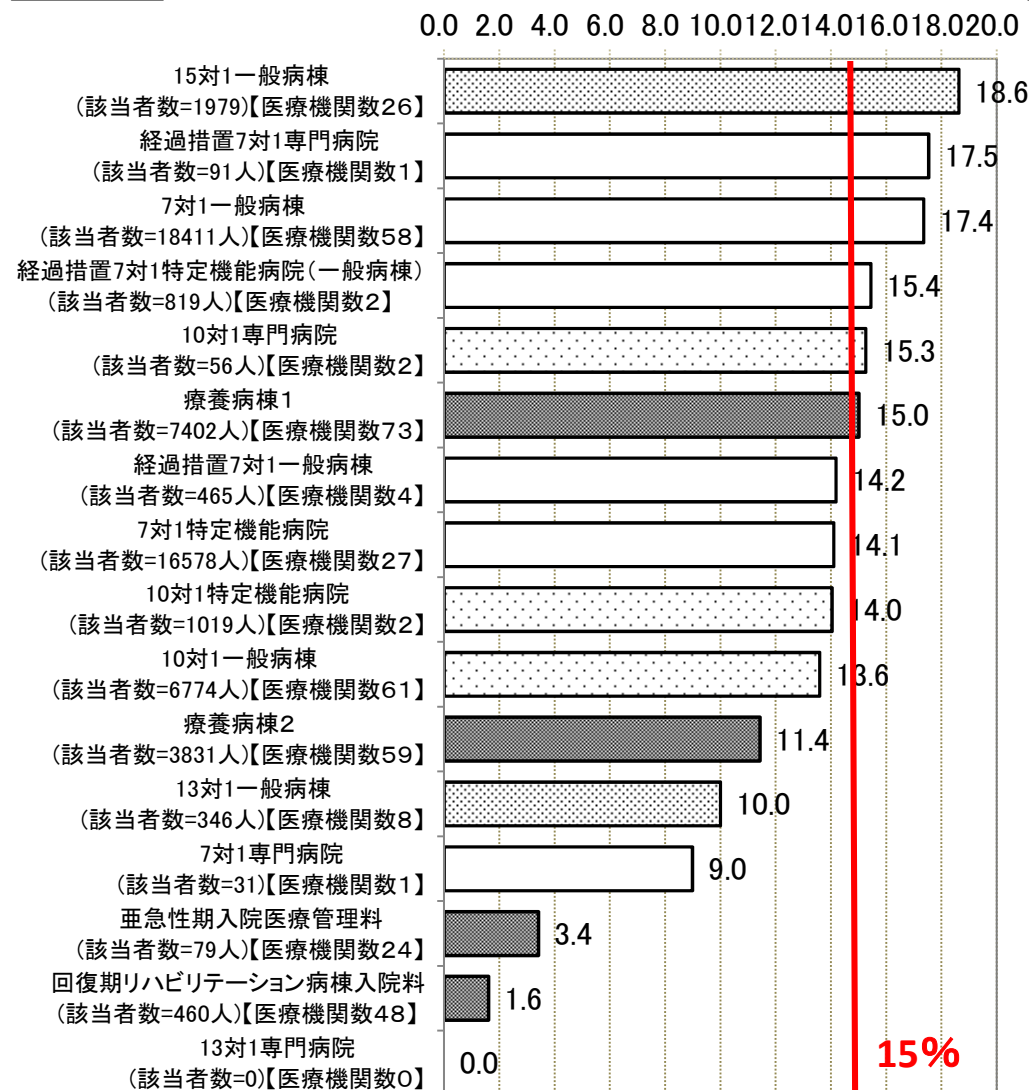
＜削除項目のシミュレーション＞

パターン6:「時間尿測定」「血圧測定」を削除した場合②

現行



パターン6の集計結果



シミュレーションの結果

	基準該当者割合別の施設割合		7対1入院基本料 一般病棟 基準該当者割合
	15%未満	15%以上	
パターン1			17.1
パターン2	83.9%	16.2%	10.5
パターン3			15.3
パターン4	89.3%	10.8%	8.4
パターン5	41.9%	58.1%	17.7
パターン6	58.1%	42.0%	15.9

入院患者のADLについて

重症度・看護必要度に係る評価票

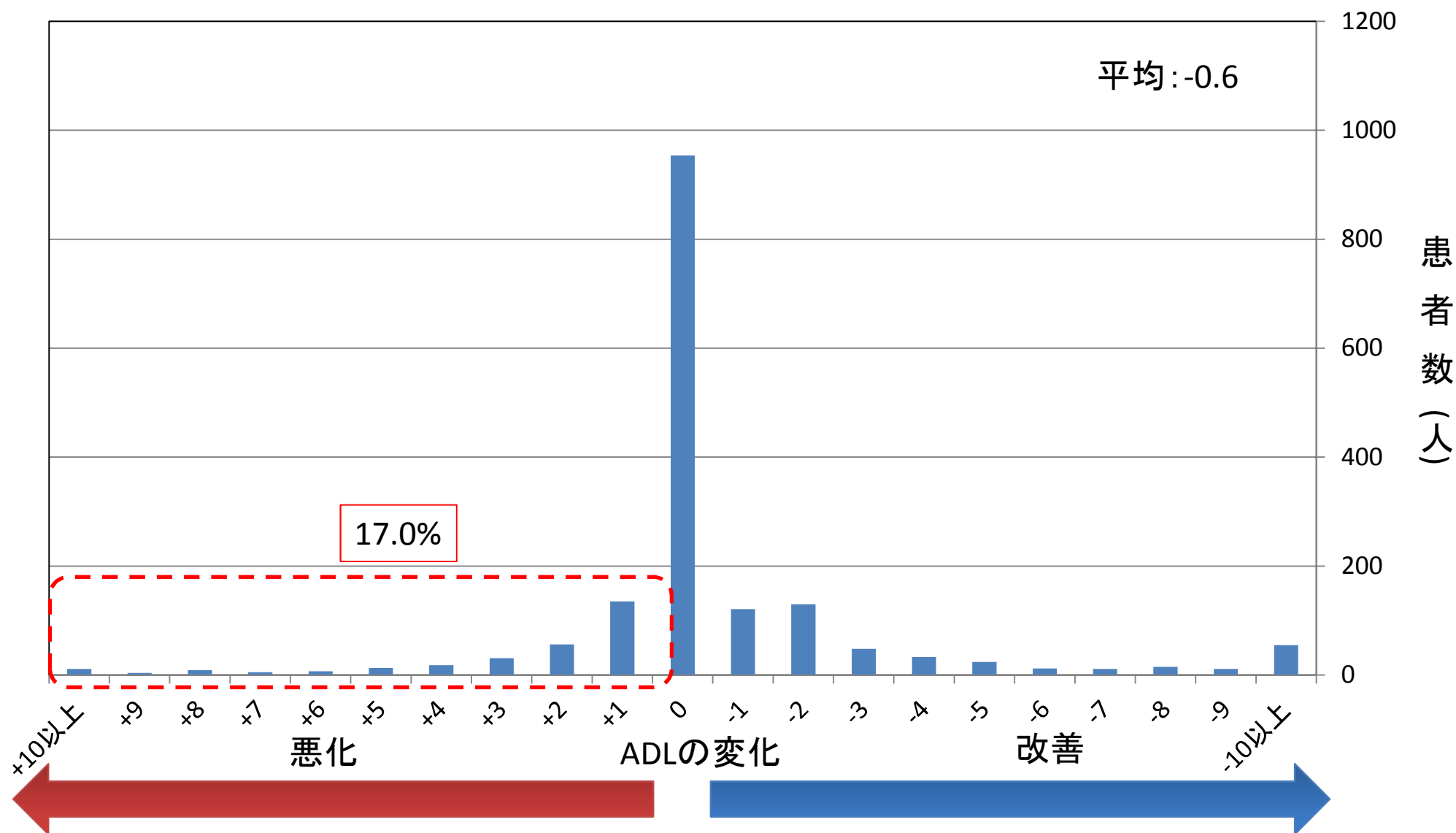
(改) 診調組 入 - 1
2 5 . 6 . 1 3

B 患者の状況等	0点	1点	2点
1 寝返り	できる	何かにつまればできる	できない
2 起き上がり	できる	できない	
3 座位保持	できる	支えがあればできる	できない
4 移乗	できる	見守り・一部介助が必要	できない
5 口腔清潔	できる	できない	
6 食事摂取	介助なし	一部介助	全介助
7 衣服の着脱	介助なし	一部介助	全介助

7対1病院における調査期間(2週間)中のADL*の変化(平成24年度調査)

N=1,703

*重症度・看護必要度B項目の値



DPCデータにおけるADLの評価基準

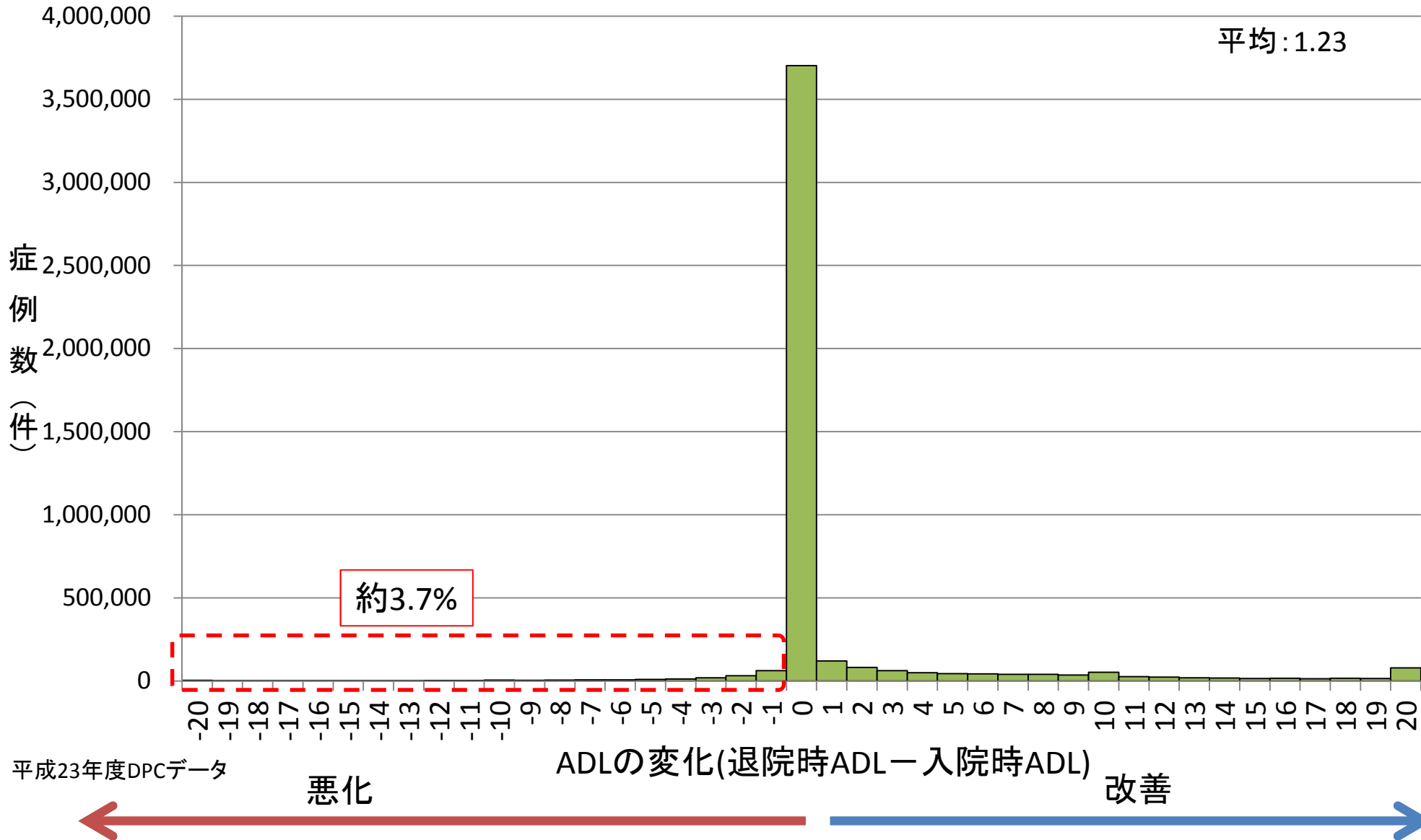
分類	所見			
	自立	一部介助	全介助	不明
食事	2	1	0	9
移乗	3	2 軽度の介助で可能	0 座位バランス困難	9
		1 高度の介助を必要とする が座位保持可能		
整容	1	0		9
トイレ動作 トイレの使用	2	1	0	9
入浴	1	0		9
平地歩行	3	2 一人介助で歩く	0	9
		1 車いすで自立		
階段	2	1	0	9
更衣	2	1	0	9
排便管理	2	1	0	9
排尿管理	2	1	0	9

7対1病院における入院中のADLの変化 ①(DPCデータ)

注: ADL評価に不明が含まれる症例を除く

N=4,676,063

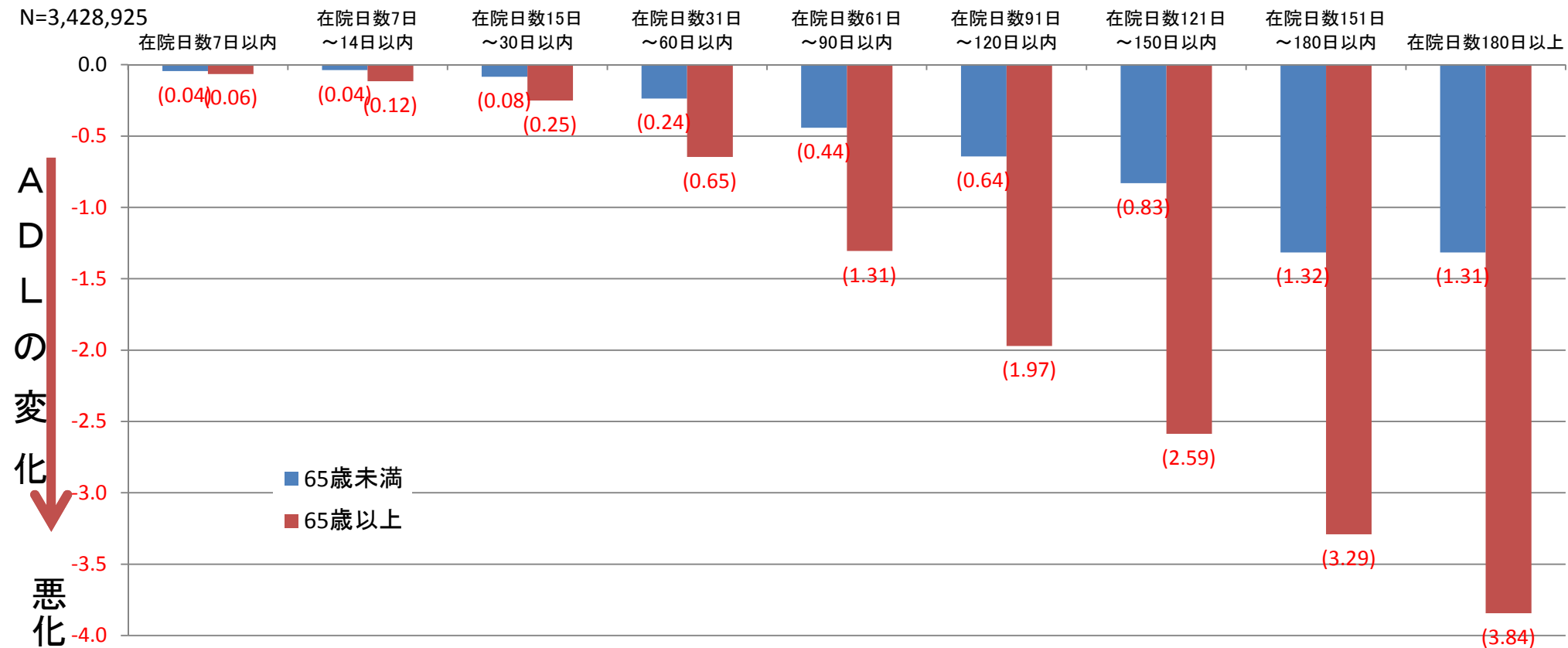
入院時ADLと退院時ADLの変化(TOTAL)



7対1病院における入院中のADLの変化 ②(DPCデータ)

注:ADL評価に不明が含まれる症例を除く

入院時のADLが自立(20点満点)の患者の入院中のADL変化 (在院日数別、年齢階級別、平均ADL変化値)

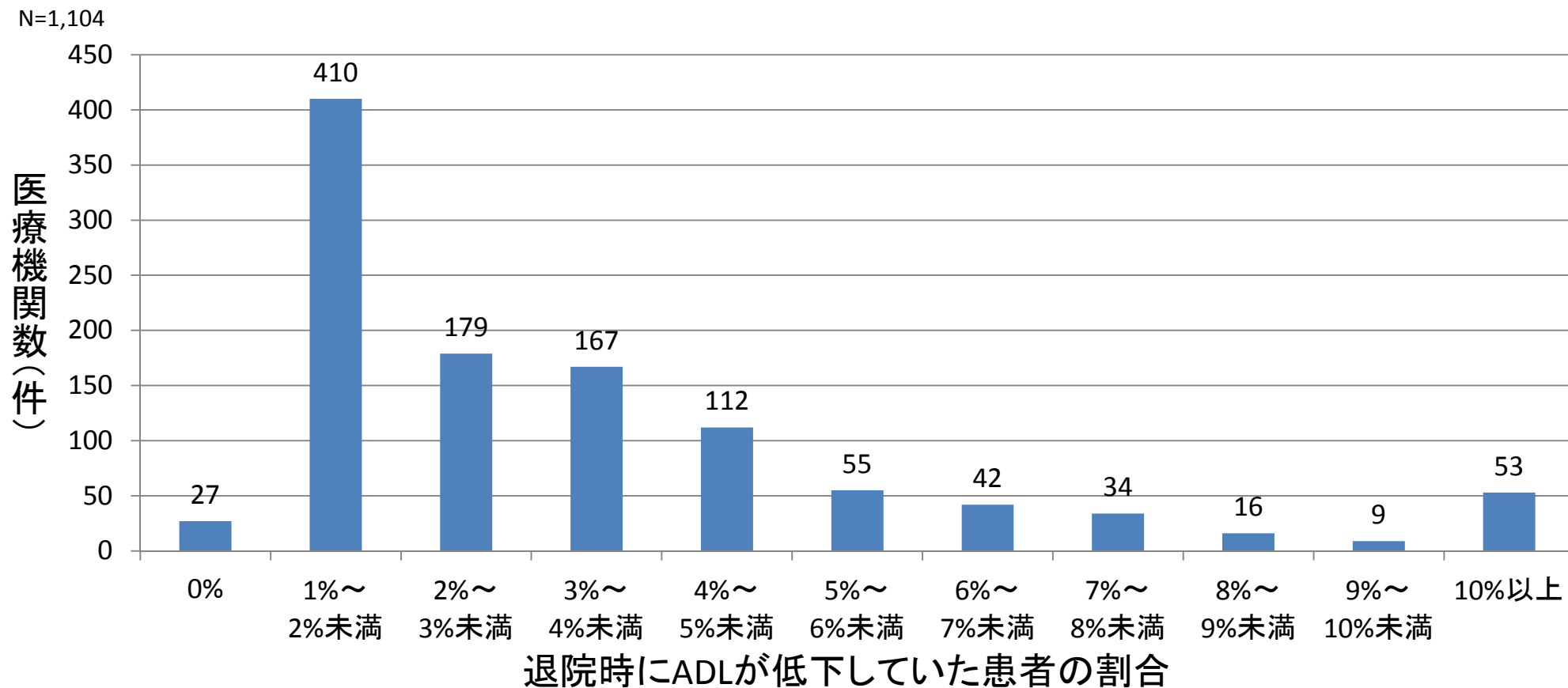


入院時にADLが自立している患者の場合、在院日数が長いほど退院時にADLが低下している値が大きい。また、65歳以上の患者の方が低下するADLの値が大きい。

7対1病院における入院中のADLの変化 ③(DPCデータ)

注:ADL評価に不明が含まれる症例を除く。該当症例が12件/年以下の医療機関を除く。

入院時のADLが自立(20点満点)の65歳以上の患者のうち、
退院時にADLが低下していた症例の割合別の医療機関数



入院時にADLが自立している65歳以上の患者のうち退院時にADLが低下していた症例割合が一定程度ある医療機関が存在している。